

2023年度

NITE講座(シラバス)

科目名	事業者等における製品安全対策の基礎知識	募集定員	各1000名	開講機関 (実施方法)	製品評価技術基盤機構 製品安全センター (オンライン講座:Webex)	講義日時	11月15日(水) 11月16日(木) 11月17日(金)
科目概要	<p>近年、種々の製品事故が顕在化し消費者が使用する製品の安全性が大きく注目を集めています。製品事故は製品に原因がある事故だけではなく誤使用による事故も発生しています。本講座では製品安全行政、製品事故動向、リスクアセスメント、事故事例、事故調査手法等について解説します。本講座を受講することにより、製品事故を取り巻く最新の状況やリスク評価、事故原因分析等による事故防止対策についての基礎的かつ幅広い知識を得ることができ、企業等における設計・製造・輸入・販売時などの製品安全対策に役立てることが出来ます。昨年度から製品安全に関する最新情報をお届けする【TOPICS】枠を設けました。新規ご参加の方だけでなくリピーターの方にも学んでいただける内容となっています。</p>						

科目構成	No.	講義名	講義概要(150字)	講義日	時間	開講場所
製品安全ってなんだろ う?という疑問に答える 基礎講座 【主な対象者】企業で 初めて品質管理に携 わる方など製品安全の 基礎知識を習得したい 方	1	【TOPICS】製品安全行政の 概要と今般の動向	経済産業省における製品安全に関する最新の規制動向や取組として、インターネット取引における製品安全の現状と課題、リチウムイオン蓄電池の安全対策、ガストーチに係る規制のあり方について、乳幼児の誤飲による事故への対応、IoT関連製品の安全性検討、PSアワード及び製品安全対策自己宣言について解説します。	11月15日(水)	13:30～14:30 (60分) 休憩10分	オンライン(Webex)
	2	【TOPICS】製品安全への取 組の実例～ネットモール運 営事業者の視点から～	近年では中古品のネットモールでの販売購入も増加傾向にあり、特に一般消費者が販売者としての役割を担う場面も多く想定されるようになっている中で、ネットモール運営事業者としてどのように安全な製品の取引の場を提供しているかの実例をご紹介します。		14:40～15:25 (45分) 休憩10分	
	3	【TOPICS】製品事故の最新 動向	製品事故情報収集結果と最近の事故トレンドを解説します。		15:35～16:05 (30分) 休憩10分	
	4	過去の重大な製品事故と 製品安全の考え方	石油温風暖房機による一酸化炭素中毒死亡事故等、過去の重大な製品事故やその行政指導等について紹介し、共通認識として製品安全を実現するために事業者、消費者、行政の役割は何か、また、安全・リスクなどについて解説します。		16:15～17:05 (50分)	
安全な製品をどうやっ て見極めるの?という 疑問に答えるリスクア セスメント講座 【主な対象者】企業で 製品の設計・開発や仕 入れ業務に携わる方 で、リスクアセスメント の知見を得たい方	5	リスクアセスメントの基礎	消費生活用製品を製造又は輸入する事業者には、単に法規制を遵守するだけでなく、使用者の視点に立ったリスクアセスメントを行い、より安全性を高めた製品を市場に供給することが求められています。本講座では、製品安全分野におけるリスクアセスメントの基礎を学びます。	11月16日(木)	13:30～14:30 (60分) 休憩10分	オンライン(Webex)
	6	事故事例とリスクアセ スメントの実習	事故の多い製品についてリスクアセスメントの事例や、リスク低減にみるその効果を紹介し、リスク評価手法を体験していただきます。		14:40～15:40 (60分)	
製品事故の原因はどう やって調べるの?とい う疑問に答える事故分 析講座 【主な対象者】 企業、消防、警察等で 製品事故調査に携わ る方で、技術的な知見 を得たい方	7	電気分野の事故原因調査 手法について	電気分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。	11月17日(金)	13:30～14:40 (70分) 休憩10分	オンライン(Webex)
	8	機械分野の事故原因調査 手法について	機械分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。		14:50～16:00 (70分) 休憩10分	
	9	化学分野の事故原因調査 手法について	化学分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。		16:10～17:10 (60分)	